

平成21年3月期 本決算会社説明資料

オメガプロジェクト・ホールディングス株式会社

Omega
Project Holdings

本資料は平成21年3月末時点での決算データ及び6月4日時点の情報に基づいて作成されております。本資料に掲載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、予告なしに変更されることがあります。

■ 会社概要	3
■ コーポレートガバンスの基本方針	4
■ 会社沿革	5
■ 経営理念	6
■ オメガプロジェクトグループ	7
■ 企業集団の状況	8
■ 業績の概況・売上高の推移	9 ~ 10
■ 本決算P / L・B / Sダイジェスト	11
■ レジャー事業	12 ~ 14
■ 映像・音盤関連事業	15 ~ 16
■ 投資事業	17
■ 次期の見通し	18
■ 中・長期的経営戦略と課題	19
■ 事業リスク	20
■ 今後の展望	21

- 会 社 名** オメガプロジェクト・ホールディングス株式会社
(Omega Project Holdings Co.,Ltd.)
- 設 立** 1976年1月24日
- 代 表 者** 代表取締役社長 近藤 宜彰
- 本 店 所 在 地** 東京都品川区西五反田1 - 26 - 7 (平成21年3月1日より)
- 資 本 金** 1,221百万円(2009年3月末時点)
- 事 業 内 容** オメガプロジェクトグループ全体の戦略、立案、子会社の
管理、映像・音盤関連事業、投資事業、レジャー事業等
- 従 業 員** 個別:18名(2009年3月末現在)
連結:166名(2009年3月末現在)
- 発行済株式数** 199,910,272株(2009年3月末時点)

日々変化する社会や業界にスピーディーに対応し、企業価値を向上させるためには、コーポレートガバナンスの充実が必要

【ガバナンス体制】

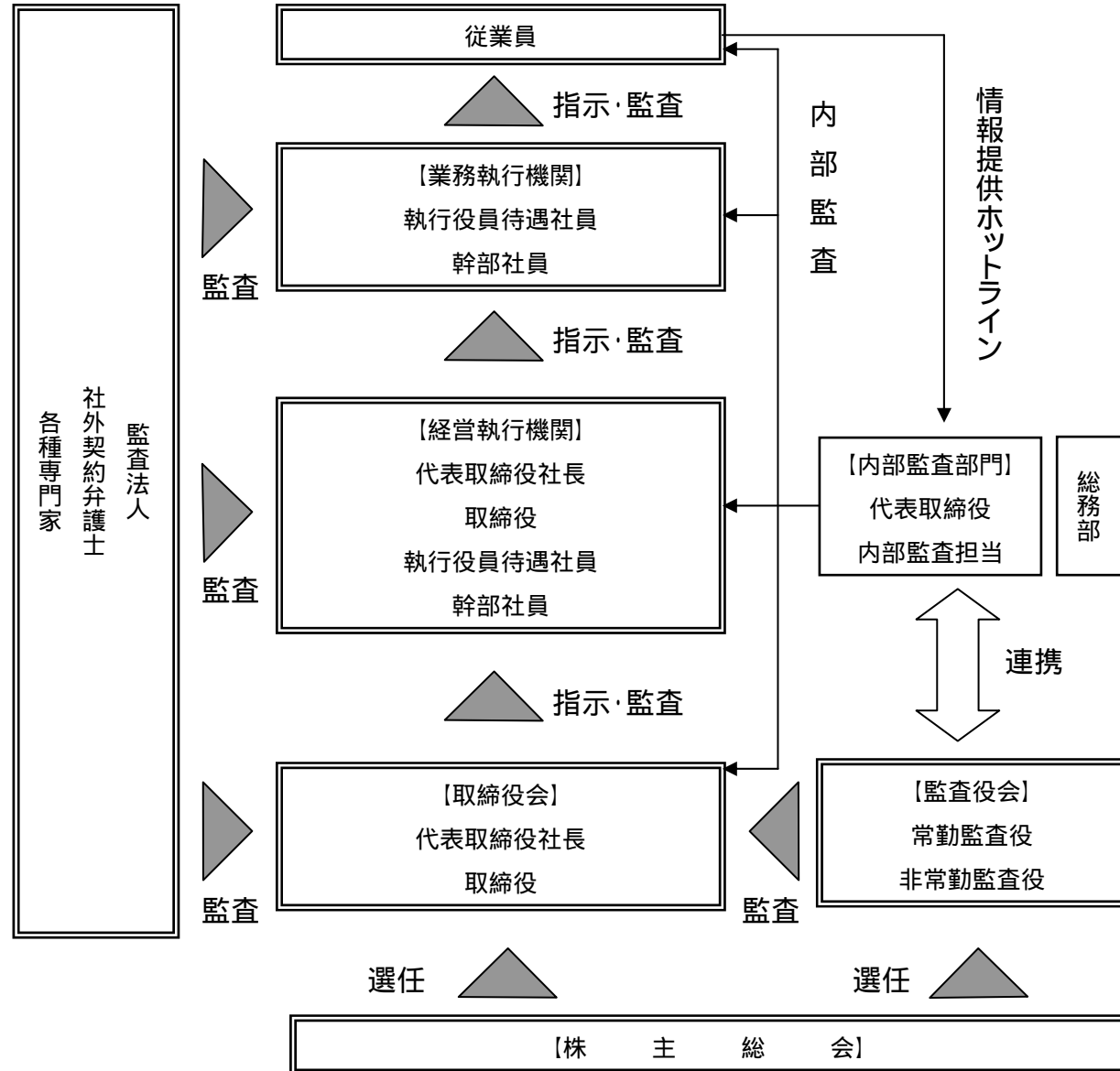
- 経営に係る重要事項の決定及び業務執行状況の監督
- 中立の立場から経営に係る助言及び意見交換を充実
- 相互連携の充実

【内部統制】

- 密な連携による課題抽出・解決案策定等
- 組織横断的なリスク管理の推進
- 漏洩や開示即時性に対する管理を開示担当部署に徹底

【役員報酬】

- 上限を決定し、実績を踏まえて上で算出



昭和51年1月	体感音響機器の商品化を図り、新しい音楽の聴き方を提案普及させる目的を持って会社設立。
昭和51年5月	ボディソニック製品第一号 ボディソニックチェアMC1000 を全国主要電気販売店を通じ、販売開始。
平成2年4月	当社株式を社団法人日本証券業協会へ店頭売買銘柄として登録。
平成9年12月	エヌディーエフグループ(映画の権利売買、製作及びファイナンスを主な事業とするグローバル企業群)が筆頭株主となり同グループ支援の下、企業再建プランに着手。
平成10年1月	グループ企業としての映画事業進出第一弾作品「リング」「らせん」が大ヒット。
平成12年7月	会社商号をオメガ・プロジェクト株式会社に変更。
平成12年10月	ドイツ・フランクフルト証券取引所に上場。
平成15年3月	電子機器関連事業(旧ボディソニック事業)の営業権を譲渡し、本事業から撤退。
平成16年11月	バサラ・ピクチャーズ株式会社(国内における映像コンテンツの企画・制作)を連結子会社化。オメガ・ピクチャーズ株式会社(韓国)(韓国における映像コンテンツの企画・制作)を連結子会社化。
平成16年12月	株式会社サポテンパークアンドリゾートを持分法適用関連会社とし、テーマパーク事業に着手。
平成17年4月	商号を「オメガプロジェクト・ホールディングス株式会社」に変更。
平成17年6月	オメガ・プロジェクト(株)設立(映像関連ソフトの企画、制作、権利管理および販売等)。
平成17年10月	エムスリエンタテインメント株式会社(映像ソフトウェアの企画、制作)を持分法適用関連会社化。
平成18年3月	台湾の永兆精密電子社(通信機器の製造、開発、販売)の株式を取得。
平成18年6月	株式会社サポテンパークアンドリゾートを完全子会社化、及び中伊豆高原開発株式会社(現 伊豆スカイラインカントリー株式会社)を孫会社化。
平成19年1月	株式会社アニマルフィルムボンドカンパニー(動物に特化したイベントの企画・実演、映像製作)を設立。
平成19年5月	株式会社FLACOCO(CM制作、イベントの開催等)を完全子会社化。
平成21年3月	オメガプロジェクト株式会社(韓国)(旧オメガ・ピクチャーズ株式会社(韓国))を売却

「エンタテインメントで人類をつなぎたい」

～ 5つのファクターが織り成すプロジェクト～



【基本ルール】

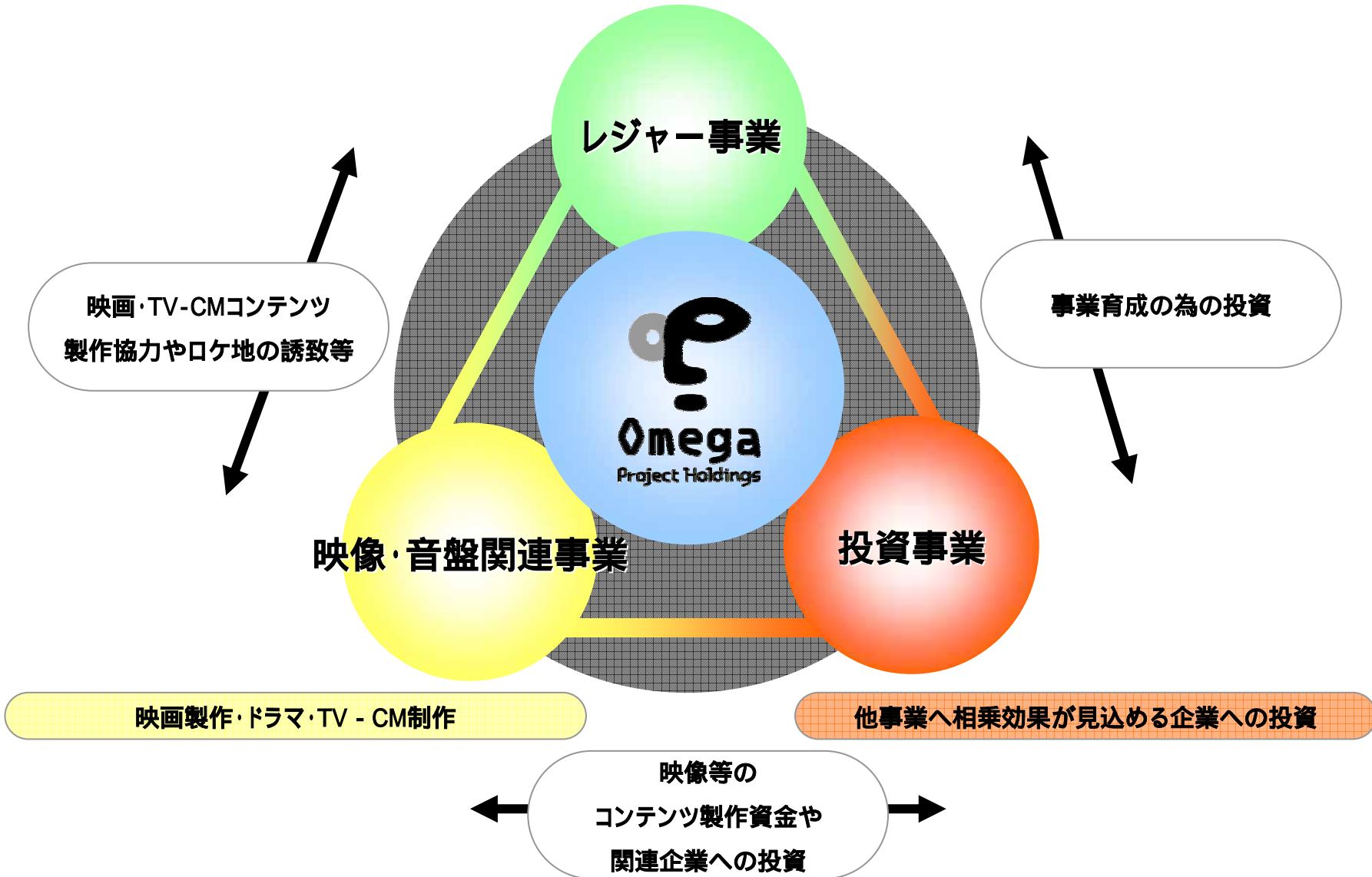
- 国境を越え、新たな価値を創造し、皆様に真のエンタテインメントをお届けします。
- 社員ひとりひとりが正しい倫理観を基に事業を遂行します。
- 取引先、株主、従業員をはじめ、オメガプロジェクト・グループを取り囲む全ての人を大切にします。

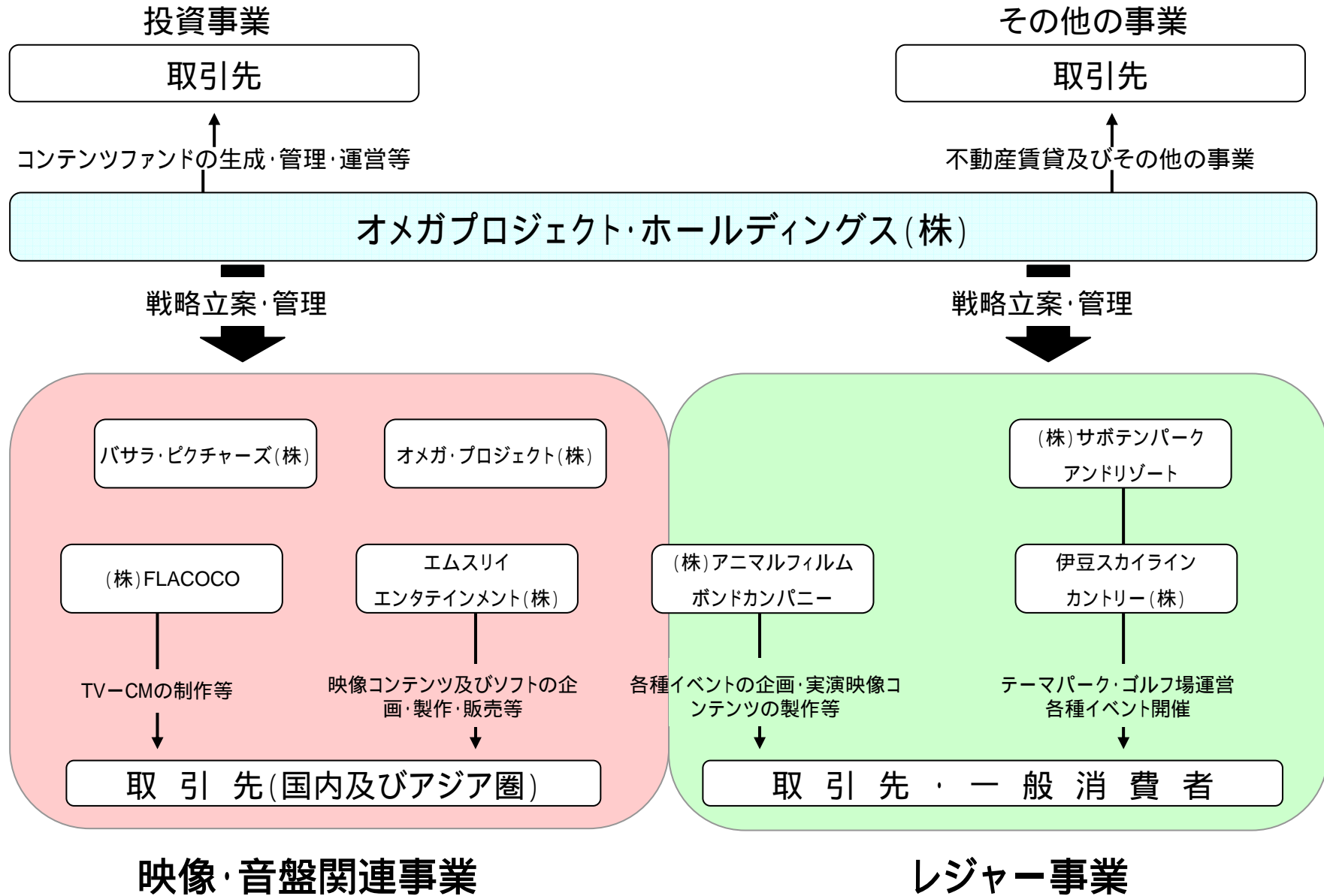
【社会・文化貢献活動】

「エンタテインメントで人類をつなぐ」というグループ理念を実現するため、エンタテインメントを通じて、社会・文化貢献活動を行って参りました。日中国交正常化30周年をきっかけに始まった「日中映画祭」は、中国と日本の劇場未公開最新話題作から、名作やアニメなどの映画を上映することで、日中社会の多様な側面を紹介し合い、日中友好関係の向上を担っていくことを目的としています。

3つのコアビジネスによるシナジー効果

テーマパーク・スポーツ施設の運営





平成21年度3月期実績

	売上高	営業利益	経常利益	純利益
連結	3,079百万円 (前期3,747百万円)	597百万円 (前期 1,092百万円)	522百万円 (前期 1,025百万円)	1,772百万円 (前期 6,240百万円)
個別	351百万円 (前期1,507百万円)	415百万円 (前期 843百万円)	363百万円 (前期 772百万円)	1,773百万円 (前期 5,718百万円)

売上高

「レジャー事業 ～テーマパークやゴルフ場が順調に稼働～」 [(2,633,040千円)]

ゴールデンウィークでの悪天候による売上減少があったが、夏季繁忙期の好天による売上増加

スポンサーによる広告宣伝や、修学旅行等の団体客の誘致により来場者数・売上増加

・伊豆シャボテン公園は、2000年以来8年ぶりとなる、年間入園者数34万人を突破

「伊豆高原旅の駅 ぐらんぱるぼーと」も好評であり、売上高増加に寄与

「映像・音盤関連事業 ～大手企業のTV-CM制作・ドラマ作品～」 [(381,824千円)]

株式会社FLACOCOによるTV - CM、グラフィック広告制作

・学校法人 東海大学、三和酒類株式会社の「iichiko」「いいいちこ 日田全麹」

・株式会社ナイキジャパン「ナイキゴルフ」、大手化粧品メーカーのグラフィック広告

グループ会社によるドラマ作品の制作・業務協力

「内藤大助物語 いじめられっ子のチャンピオンベルト」、「街占師」、「時」

映画作品「愛のむきだし」が、様々な国際映画祭において賞を受賞

「投資事業 ～事業の整理・再編～」 [(12,658千円)]

先般から不安定である事業基盤の整理・再編の推進

保有有価証券の債務等の減損処理・処分

営業利益・経常利益

「管理費及び一般管理費の増加」

株式事務諸経費や広告宣伝費等の増加

賃借料等費用削減に努めたが、当初策定の費用削減計画を下回る

当期純利益

「特別損失の計上」

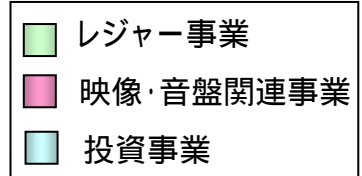
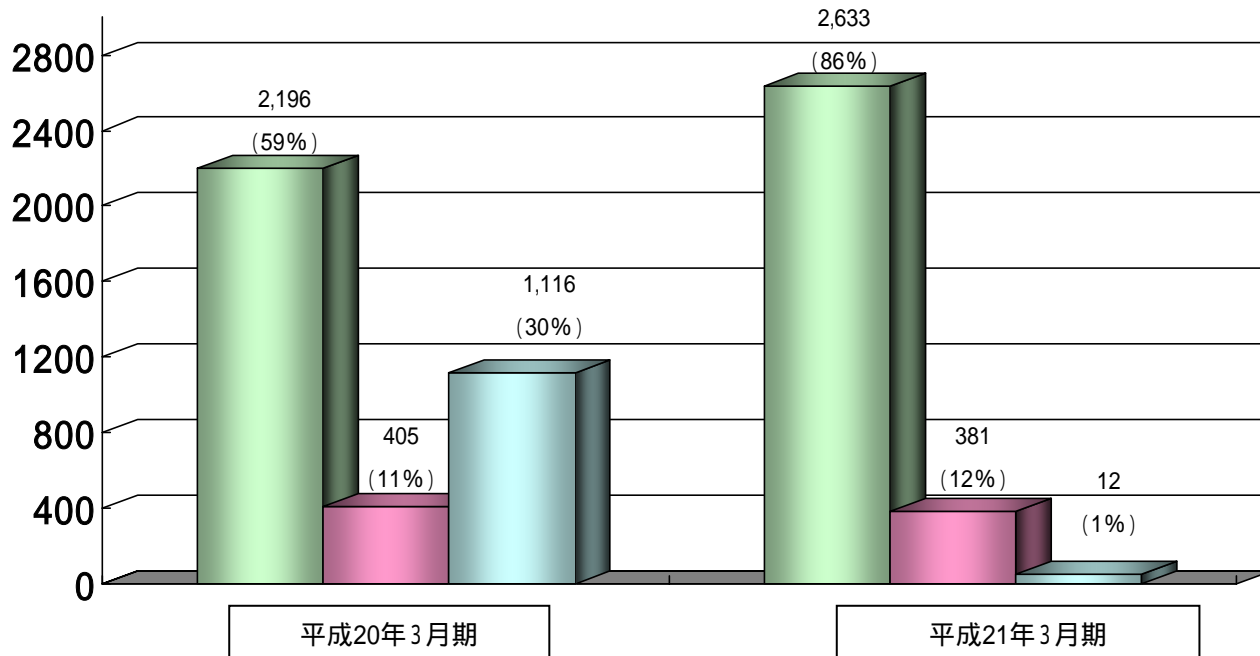
当社保有の有価証券、債権、その他グループ会社の資産、事業の進展状況等を会計監査法人の指導の下、保守的かつ厳格に精査した結果、特別損失を計上

平成20年3月期以前より引当金を計上していた債権・貸付金の回収が経済情勢の悪化により計画通り進まず

売上高の推移(セグメント別) ~主力事業のシフト~

単位:百万円

()内は構成比率



レジャー事業の売上高は約120%増
投資事業は、投資規模の縮小等により減収

「レジャー事業～好調なテーマパーク施設～」

(実績) 夏季に好天に恵まれたことや、スポンサー、広告宣伝、積極的な営業活動等により、来園者数及び売上高の増加

(今後) グループを横断するプロジェクトチームを組むことにより、営業活動・各種イベント開催の企画力の強化

・お客様単価及び知名度向上のための、サポテン等を使用した食品・オリジナルグッズ等の開発・販売

「映像・音盤関連事業～映像制作の受注増加～」

(実績) 子会社オメガ・プロジェクトを中心としてTV-CM制作・ドラマ作品の制作協力による収益

(今後) CM・ドラマ・映画等のコンテンツポートフォリオの構築によるリスク分散化

・コンテンツの継続的な製作を行うことで収益の安定化・事業の拡大

「投資事業～事業基盤の整理・再構築～」

(実績) 事業基盤の整理・再構築の推進

(今後) 主力事業の育成を図る為の投資

本決算P/Lダイジェスト(連結)

単位 千円	平成20年3月期	平成21年3月期
売上高	3,747,290	3,079,282
営業利益	1,092,523	597,540
経常利益	1,025,801	522,359
純利益	6,240,426	1,772,561

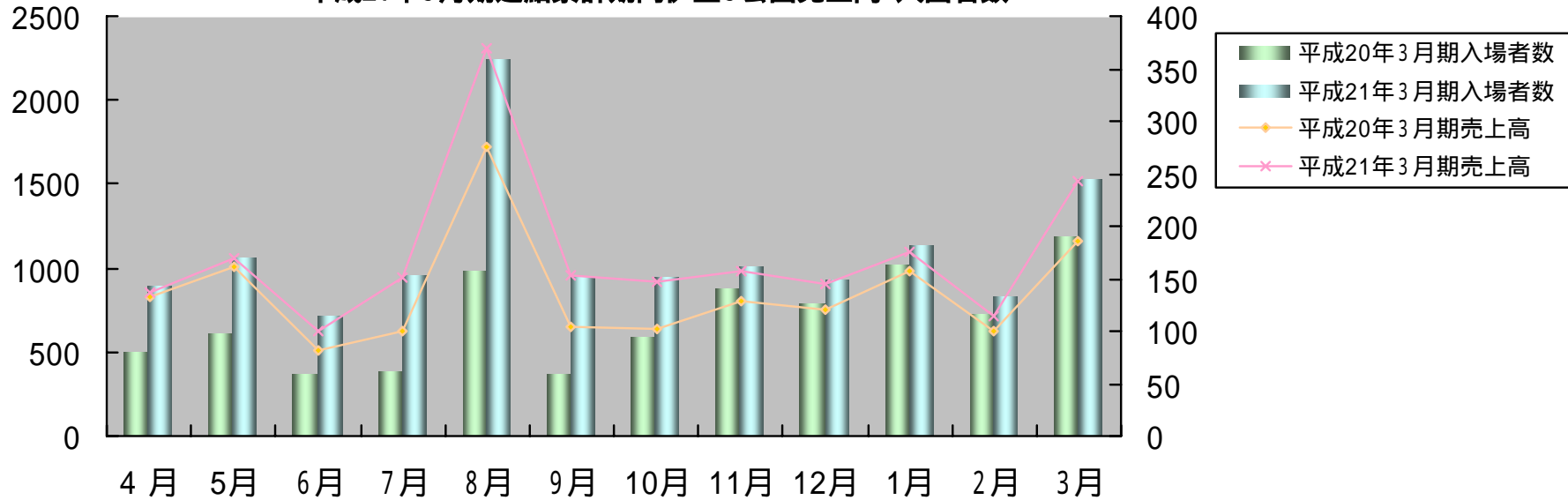
本決算B/Sダイジェスト(連結)

単位 百万円	平成20年3月期	平成21年3月期
総資産	5,162	2,711
資産	流動資産	657
	固定資産	2,053
負債 資本	負債	1,995
	純資産	715

単位:(百人)

平成21年3月期連結累計期間伊豆3公園売上高・入園者数

単位:(百万円)



伊豆のレジャーを代表する3公園



【伊豆シャボテン公園】

夏季繁忙期が好天に恵まれたことや、開園50周年記念の各種イベントの効果により、売上高は前年比**約123%増**



【伊豆ぐらんぱる公園】

「伊豆高原ぐらんぱるぽーと」が認知されたことによる入園者数の増加により、売上高は前年比**約130%増**



【伊豆海洋公園】

前期(H20.4月～9月)の売上高は減少したが、後期(10月～H21.3月)の平均売上高が前年比100%以上のため、前年とほぼ同じ売上高



【伊豆3公園総括】

スポンサーによる広告宣伝や、関東からの修学旅行などの大口顧客の誘致により、全月間の売上高・入場者数が前年を上回った結果、売上高は前年比**約125%増**

伊豆地域を中心としたスポーツレジャー施設の展開

【伊豆海洋公園ダイビングセンター】

磯プールの稼働時期の順調な売上高の増加や、ダイビング施設は後期(10月～H21.3月)の順調な稼働による閑散期のカバーにより、売上高は前年比**約102%増**

【伊豆スカイラインカントリー倶楽部】

上級者からアベレージゴルファーまで十分に楽しめ、好天にも恵まれた結果、売上高の増加に寄与

順調に売上高・入園者数を伸ばし、今後も増加が期待される

関東圏を中心とした営業活動の実施



伊豆を中心とした関東圏への営業活動により、伊豆シャボテン公園は、年間入場者数が2000年以来8年ぶりとなる34万人を突破

関東圏を中心とした営業活動により、入園者の約70%が関東在住



関西方面からの集客により、更なる入園者数の増加を図る

関東圏・関西圏両面からの営業活動へ

【グループを横断するプロジェクトチームの発足】



東京

神奈川

関東圏を中心とした営業活動の実施

千葉

埼玉

東京に営業所を置くことにより、関東圏への営業活動の強化



更なる営業活動の強化

関東圏における営業基盤の完成
関西圏への営業基盤の構築へ
学校、旅行会社への営業活動の強化



大阪

名古屋

関西圏を中心とした営業活動の実施

神戸

京都

伊豆を中心として関西方面への営業活動の実施及び営業基盤の構築

グループを横断した営業活動・イベント等の企画力強化により、更なる集客力の向上へ



首都圏を中心とする全国展開を見据えた商品販売
 エンタテインメントのプロモーションにより、老若男女を問わない商品販売
 レジャー施設を絡めることによる、施設への二次的効果

【開 発 案 件】



サボテンの特性を生かした美容と健康食品の開発へ



フーディアサボテンを使用したお茶

フーディアサボテンを使用した食品

フーディアサボテンとは？
 “フーディアゴールドニー”という食欲抑制成分を含み、食欲を抑えることによるダイエット効果が期待されている。

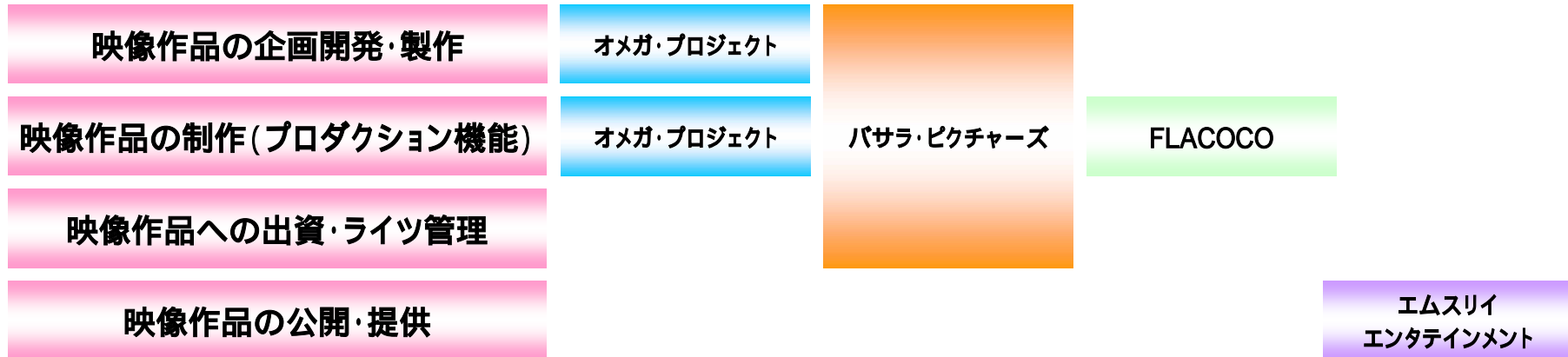


ノパルサボテンを使用したアメ

ノパルサボテンを使用した食品

ノパルサボテンとは？
 ノパルサボテンには、“トゥナ”という整腸作用、老化防止作用、血糖値低下作用などの、様々な機能性効果のある要素を持ち合わせている。

各社の特徴を活かすことによる相乗効果で、独自のコンテンツ制作集団としての地位を確立



ベルリン国際映画祭にて「国際批評家連盟賞」、「カリガリ賞」のW受賞を達成！！

「愛のむきだし」(“LOVE EXPOSURE”)

作品URL <http://www.ai-muki.com/>



【各種映画祭での受賞履歴】

- 東京フィルメックス映画祭
- ・アニエス・ベー・アワード(観客賞)
観客によって直接投票が行われる賞
- ベルリン国際映画祭
- ・国際批評家連盟賞(FIPRESCI賞)
国際批評家連盟のメンバーより、優れた作品に贈られる賞
- ・カリガリ賞(Caligari Film Prize)
斬新な手法で意欲的なテーマを描いた作品に贈られる賞
- バルセロナ・アジア映画祭
- ・観客賞(Audience Award)
全ての上映作品の中から観客投票によって選出される作品賞

株式会社FLACOCOによるTV-CM作品

【CM制作】
株式会社FLACOCO



三和酒類株式会社
「いいちこ」



三和酒類株式会社
「いいちこ日田全麹」



学校法人東海大学
「多様08 ル・マン」

ドラマ作品の製作・撮影協力

【内藤大助物語 いじめられっ子のチャンピオンベルト】

出演：伊藤淳史、岸本加世子、市川由衣、渡辺いっけい、淡路恵子 他

【街占師】

出演：高畑淳子、村田雄浩、烏丸せつこ、吉行和子、三原じゅん子、小林綾子 他

【時】

出演：三浦友和、野際陽子、原日出子、河相我聞、小林綾子、前田健、渡辺哲 他



<街占師に使用された当社グループ運営の山手スピキュラルホテル>

投資活動

平成21年3月期連結会計期間において、投資活動は行わず

【理由】

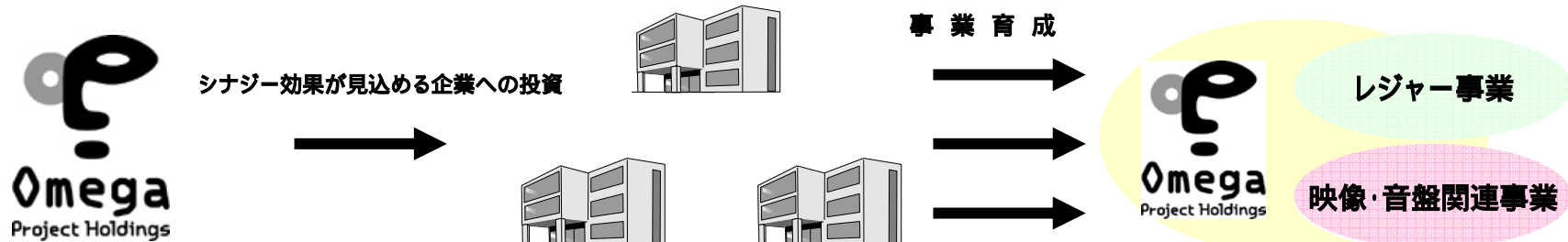
サブプライムローン問題に端を発した世界的な株式市場の悪化により、中・長期的な市場環境を見据えた結果、現状においては、事業基盤の整理・安定化を図ることが、優先事項であると判断

【今後】

市場の低迷により、割安で成長性のある企業へ投資することで、企業育成の推進に努める

投資事業の事業方針

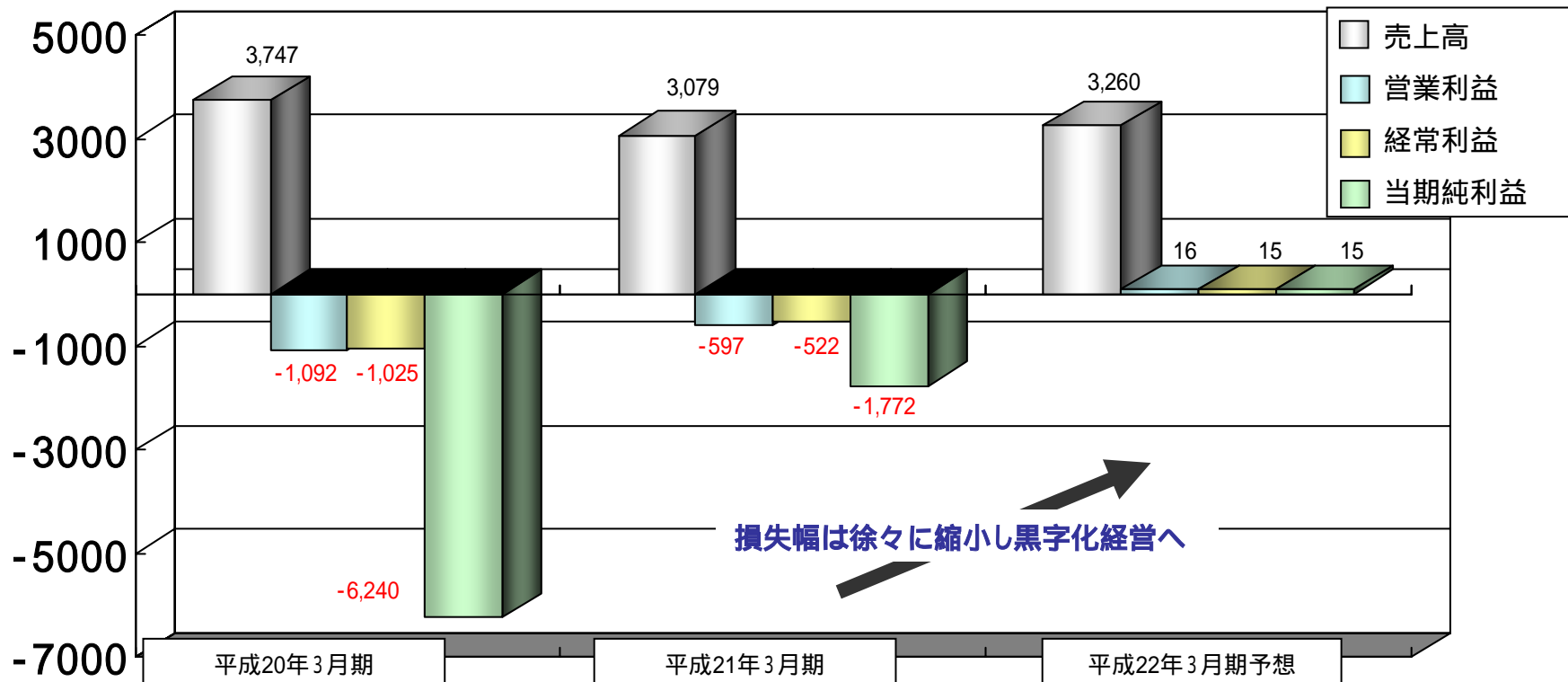
- ・短期的なキャピタルゲインのみを求める投資ではなく、他事業とのシナジー効果が見込める企業への投資を行うことにより、主力事業への育成
- ・投資環境の悪化により多額の特別損失を計上した状況下において、事業体制の再構築が急務となっており規模の縮小とともに、投資ポートフォリオのバランス改善を重点的に継続
- ・事業体制の見直しを図っている段階であり、投資を行うにあたり、慎重なデューデリジェンス



平成22年度3月期業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	純利益
連結	3,260百万円	16百万円	15百万円	15百万円
個別	260百万円	10百万円	11百万円	10百万円

単位:(百万円)



継続的な黒字化の達成

【中・長期的な事業戦略】

グループ内の連携の一層強化を目的とした、グループ包括的管理による戦略的運営
日本のみならず、アジア市場を視野に入れた業務の推進

グループ戦略

【財務体質の改善】

- 更なるコスト削減
- ・スケールメリットの享受
- ・管理業務のスリム化
- ・人材の再配分による人件費削減
- 財務体質の強化
- ・債権回収・保有資産の売却
- ・既存新株予約権による継続的資金調達

【グループ経営の効率化】

- グループ統制の強化
- ・情報の一層の共有化
- ・人的交流の推進
- コンプライアンスの推進
- ・コンプライアンス推進の企業風土の確立
- ・役員/取締役への研修
- ・外部専門家との適宜情報交換

【映像・音盤関連事業】

- コンテンツの効果的なプロモーション
- ・共同でプロジェクトを進める企業と連携を強化し、インターネット・モバイル等も活用した複合的な配給・宣伝戦略を企画・提案
- 新しい事業基盤の構築
- ・知的財産権によるコンテンツのクロスメディア展開による複合的収益体制の構築と、金融とエンタテインメントを融合した独自の事業モデルの創出

各事業別戦略

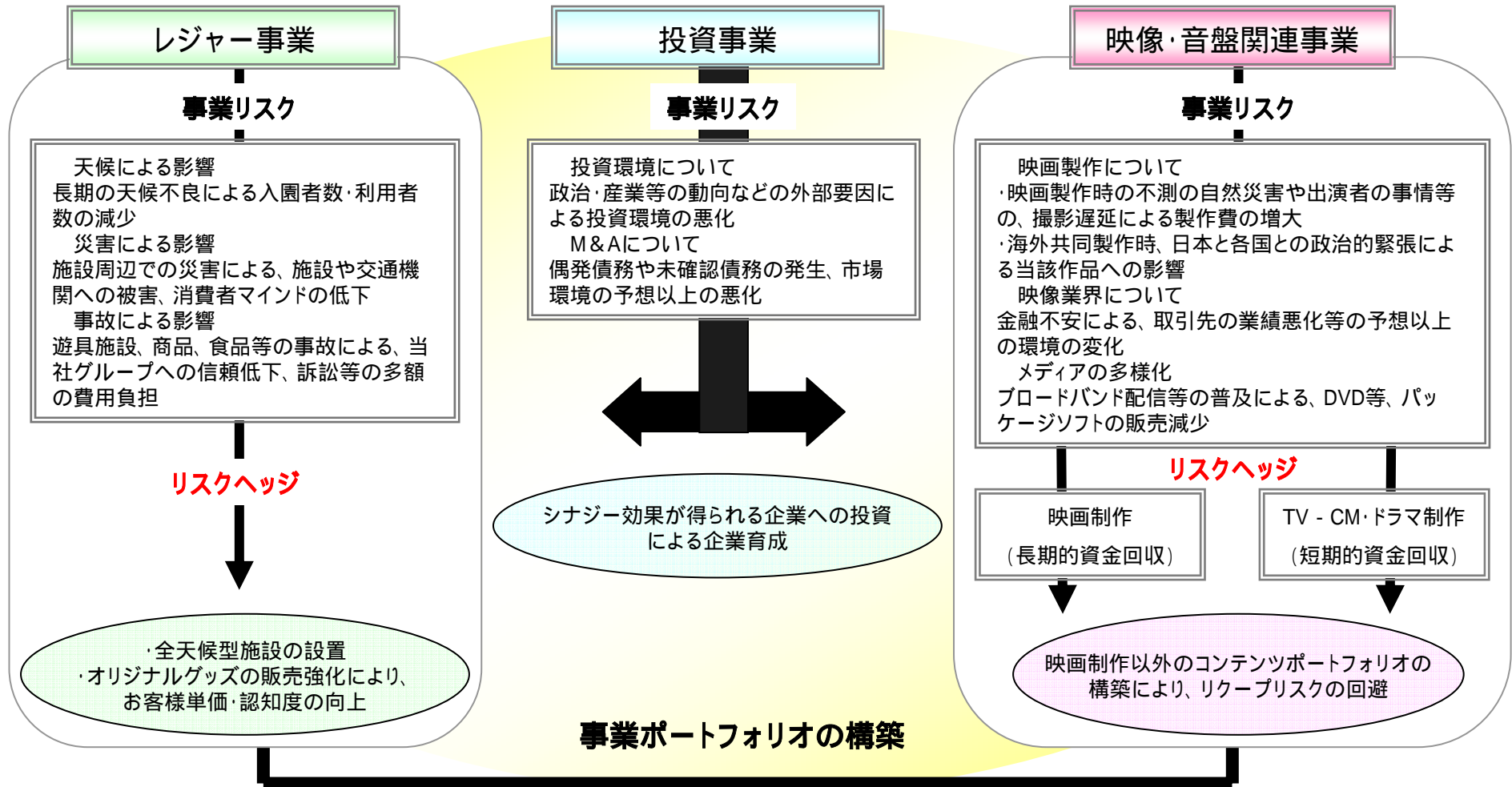
【レジャー事業】

- 集客力の強化
- ・グループ横断のプロジェクトチームの立ち上げにより、関東圏・関西圏における営業力及び、各種イベントの開催のたの企画力の強化
- 天候リスクの回避
- ・天候悪化による入園者・売上高減少リスクを回避するため、ニーズを捉えた各施設のオリジナル商品を開発・販売することで、知名度及びお客様単価向上

【投資事業】

- 主力事業の育成
- ・短期的なキャピタルゲインのみを求めず、他の事業とのシナジー効果が得られる企業への投資により、主力事業の育成
- ポートフォリオのバランス改善
- ・投資環境の悪化に伴い、当社グループ保有有価証券及び、債権等の減損処理を行うとともに、事業体制の再構築

事業リスク ~事業ポートフォリオ確立によるリスクヘッジ~



独立したポートフォリオを構築することで、リスクヘッジを図るとともに、3事業のシナジーを追求

事業の更なる拡大・発展へ

ユーク
斬新なコンテンツのプロデュース



新たなエンタテインメントの創造

効率的な資金回収

投資・M & A戦略による展開拡大

入口(コンテンツの資金調達・企画等)から出口(コンテンツの配給・マルチユース・資金回収)までをトータルプロデュースする企業群の形成を目指す



To The World ,From Asia.

Omega
Project Holdings